

ふれあい

vol. 36

平成 27 年 6 月



今年度の新入職員です。どうぞよろしくお願いいたします。

- 患者さま満足度調査報告
- 新任医師の紹介
- 総合案内カウンターが新設されました
- 健康コラム 砂糖を考える
- 定番おかずをひと工夫

 林病院

〒915-8511 福井県越前市府中一丁目5番7号
電話. 0778-22-0336 FAX. 0778-23-4014
e-mail. info@hayashi-hospital.or.jp
URL. <http://hayashi-hospital.or.jp/>

理念

わたしたちはあなたとともに
納得し安心してうけられる
質の高い医療をめざします

基本方針

患者さんの権利と尊厳を大切にした医療を行います
地域の中核病院として急性期医療を行います
地域の医療機関と連携し切れめのない医療を行います
在宅復帰のための回復期医療や在宅支援サービスを行います
健康長寿をめざした予防医療を行います

患者さま満足度調査報告

平成26年12月1日から12月20日の期間において、患者さま満足調査アンケートを実施しました。

外来・健診において各120部、病棟にて112部、健診にて100部配布し、アンケート回収率は外来患者さま96%・入院患者さま94%・健診利用者さま100%でした。調査結果を報告させていただきます。（接遇委員会）

問 各種満足度についてお聞かせください

答

院内設備面

1. 整理整頓や清掃状態
2. 医療機器等の設備
3. トイレ、洗面、給湯等の設備
4. 売店、自動販売機

病院環境面

1. 病室の居心地(清潔さ・広さ)
2. ベット、寝具、ベット周りの設備
3. 冷暖房や照明
4. 食事時間や起床・消灯時間

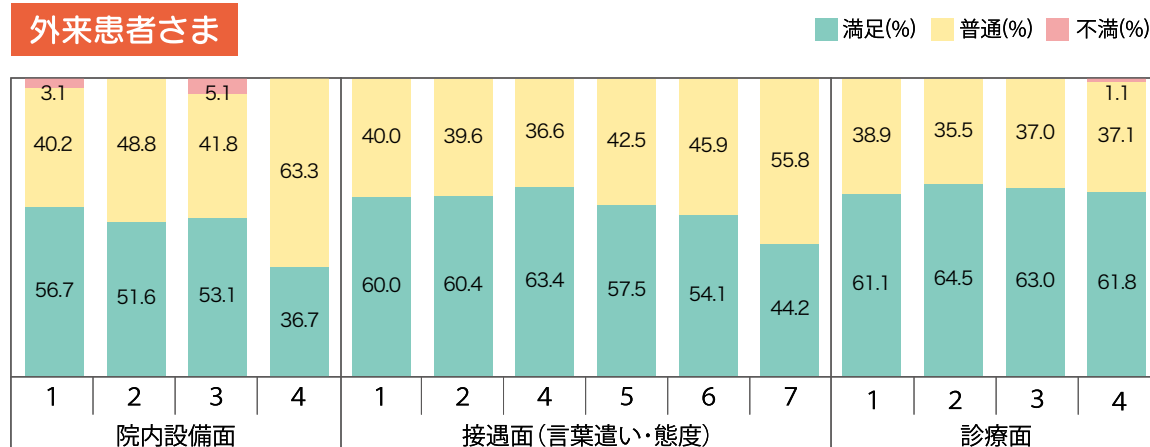
接遇面(言葉遣い・態度)

1. 事務職員
2. 看護師
3. 看護補助者
4. 医師
5. 検査技師
6. 放射線技師
7. リハビリ職員

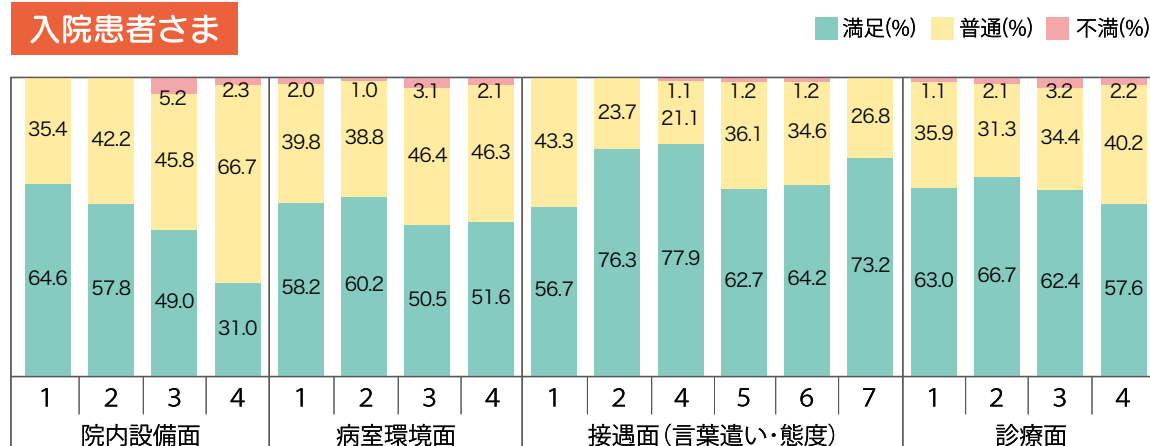
診療面

1. 看護師の採血や介助の手際よさ
2. 医師への質問や相談のしやすさ
3. 医師の病状や検査結果の説明
4. 医師の病状に対する処置の適切さ

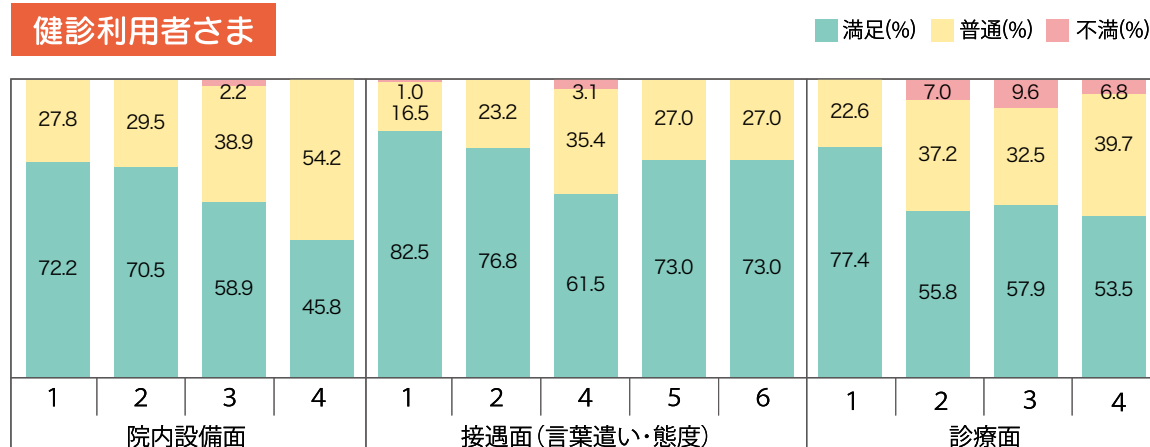
外来患者さま



入院患者さま



健診利用者さま



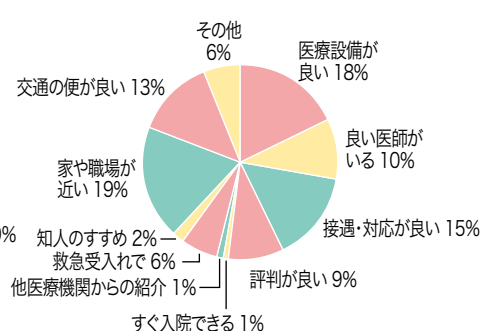
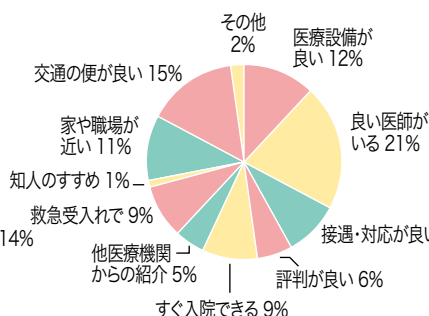
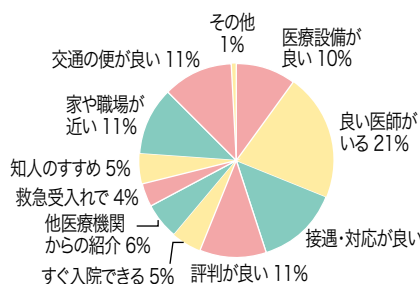
問 当院の選択理由をお聞かせください

答

外来患者さま

入院患者さま

健診利用者さま



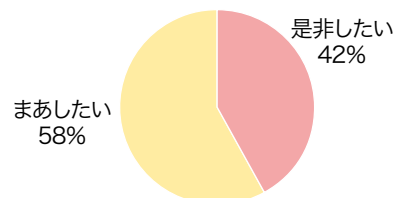
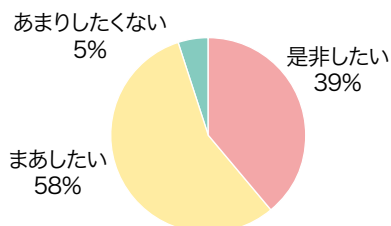
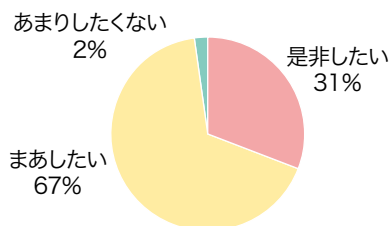
問 知人等に当院を紹介や推薦したいと思われませんか

答

外来患者さま

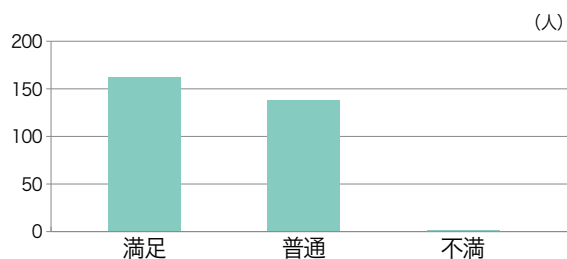
入院患者さま

健診利用者さま



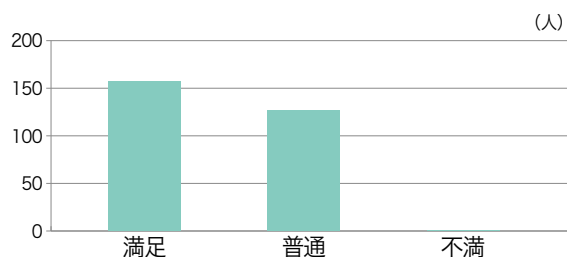
問 困った事や分からない事など、医師・看護師・その他の職員に、相談しやすかったですか

答



問 相談したことに対しての対応はどうでしたか

答



アンケートにご協力いただき
ありがとうございました

平成26年度も「患者さま満足度調査」を行いました。院内設備・環境面において少しでも満足していただける様、改善に努めてまいりました。今年度は前年度に比べ全体的に満足度が向上している結果となりました。しかし一方で不満に思うところについて非常に多くの意見を頂いております。この結果を真摯に受け止め、林病院職員一丸となって更なる接遇意識向上に努力していききたいと思います。

新任医師の紹介

New Face Introduction



脳神経外科

橋本 智哉 医師
はしもと のりちか



消化器科(内視鏡担当)

濱中 宏光 医師
はまなか ひろみつ



整形外科

森田 侑吾 医師
もりた ゆうご



神経内科

眞木 崇州 医師
ま き たかくに

総合案内カウンターが新設されました

4月より総合案内カウンターが新設されました。1階正面玄関を入ってすぐ右側、受付カウンターななめ向かい側にあり、看護師1名と看護クラーク1名で担当しております。

近年、当院を受診される皆さまには、足腰の不自由な方々や、車の乗り降りがままならない方々の受診も多くなってきています。これまで車椅子や歩行器が不足し、ご不便をおかけしたこともあったのではないのでしょうか。

来院された患者さんがスムーズに診察を受けられるように、初診時の受付手続きのご案内や、館内のご案内を行ったり、病気や介護に対する不安や困りごとのご相談などをお受けしております。私たちも外来フロアの状況を把握しながら細やかな気遣いや配慮が出来るようにと心がけております。来院される方々が安心して納得していただけるような医療サービスの向上に努めて行きたいと思っております。外来でどの診療科を受診したらよいのか分からない時などには、どうぞお気軽に総合案内にお声かけください。





砂糖を考える

昔は高価でなかなか毎日食べる事のできなかった食品の中の砂糖ですが、現代では安価となり、菓子や飲料等で簡単に手に入れる事ができるようになりました。その口にする砂糖の量も半端ではなく、たとえばペットボトルのジュース炭酸飲料の中には1.5Lに対して150g（角砂糖25個分）が含まれていますし、あまり甘くないと思われるスポーツ飲料等にも100g近い白砂糖が使われているのです。勿論、菓子類も甘くなっていますし、最近は甘くないはずの塩昆布などにも砂糖の表示があります。問題はそれだけの白砂糖をとっているという自覚が、消費者に無い事だと思っています。毎日水代わりに飲んでいるジュースや炭酸飲料、ちょっとつまむ菓子類、毎日の食卓に上がる甘辛いおかず類、一度計算してみてください。

砂糖には、特に白砂糖には潜在性（すぐに変化は起きないがゆっくり身体を蝕んでゆく）、増量性（甘さを感じるセンサーが壊れどんどん量が増えていく）、習慣性（食べても食べても次々に欲しくなり止められない）という困った特徴があり、そこが「白い麻薬」と言われる所以であろうと思われます。また白砂糖の原料はサトウキビから採った糖蜜なのですが、色々なガスを使って不純物を取り除き、ホウ酸鉛や塩素などで透明度を上げ、ミネラルやビタミンなどのべたつく栄養素を取り除いて、更に色々な無機酸な



どで真っ白に漂白したものなのです。もう元の原料からは別物になってしまった食品添加物、すなわち「 $C_6H_{12}O_5$ 」という化学式を持った化学薬品なのです。白砂糖の摂り過ぎで、身体から流れ出てしまう事によるカルシウム不足、ビタミン不足に陥ります。そのため、イライラして切れやすい、疲れやすい、虫歯、便秘、肩こり、頭痛、肌荒れ、アレルギーなど、しいては糖尿病認知症、低血糖などの恐ろしい病気につながっています。

砂糖は綺麗、溶けやすい、雑味がない、固まりにくい、といった便利な白砂糖・グラニュー糖を止めて、キビ糖・てんさい糖・黒砂糖など昔からのシンプルなものに替えてください。ペットボトルの甘い飲料を止めて、水かお茶を用意して下さい。なるべく菓子類も少なくし、子供達には家で作った簡単で素朴なおやつを食べさせて下さい。



塩分を減らす part2



日本人は世界の中でも、食塩摂取量が多いと言われています。世界の国々の1日平均の食塩摂取量を見てみると、ヨーロッパでは5~6g、アメリカでは8~10gで、アフリカでは3g以下もめずらしくないそうです。それでは、私たち日本人の1日平均の食塩摂取量はどれくらいなのでしょう。2014年12月に発表された「平成25年国民健康・栄養調査の概要」によると、2013年における成人1人当たりの平均摂取量は、男性で11.1g、女性で9.4gであることが分かりました。また、2015年4月1日より、厚生労働省は日本人の塩分摂取目標を高血圧予防の観点から、男性8.0g/日未満、女性7.0g/日未満を勧めています。（高血圧患者の目標は、男女とも6.0g/日未満）目標量に近づけるように、出来ることから始めましょう。

- ① 徐々に調味料を減らして薄味料理に慣れる。
- ② しょうゆやソースはかけずに、小皿にとって少しだけつけて食べる。
- ③ 唐辛子やカレー粉、こしょうなどの香辛料は、味覚を敏感にするので減塩の味方。
- ④ 食事量が多ければ、塩分の量も増えます。食事量を適量にして、摂取する調味料を減らす。
- ⑤ 外食や加工食品は頻度を減らし、手作りを基本に。
- ⑥ カリウムには、食塩の成分であるナトリウムを体外に排出させる働きがあります。カリウムを多く含む野菜や海藻類、果物を摂りましょう。

減塩食の調理例

ポテトサラダ

作り方

- 1) ジャがいもは皮をむき、適当な大きさに切り、にんじんは短冊切りにし茹でる。きゅうりは輪切り、たまねぎは薄切りにする。
- 2) ジャがいも、にんじんは茹で上がった後、水気をきって冷ましておく。
- 3) ボウルに、ジャがいも、にんじん、きゅうり、たまねぎを入れ混ぜ合わせる。
- 4) マヨネーズとカレー粉を混ぜ合わせたものを③に入れ、こしょうを加え、味を整える。
- 5) 器にレタスを盛り、その上に④をのせて出来上がり。



材料 2人分

ジャがいも	1個
にんじん	1/4本
きゅうり	1/2本
玉ねぎ	1/8個
レタス	2枚
マヨネーズ	大さじ3
カレー粉	小さじ1/4
こしょう	少々

ポイント

- * 塩のかわりに、カレー粉、こしょうを使用し、塩分量を減らす。
- * サラダ類で、カリウム豊富な野菜類をしっかり摂取旬の野菜類を使用しましょう。

診療案内

診療受付時間

月曜～土曜（水・金曜を除く）
午前8:00～午後5:00
水・金曜
午前8:00～午前12:00

診療時間

月・火・木・土曜
午前9:00～午前12:00
午後2:00～午後5:30
水・金曜（午前のみ）
午前9:00～午前12:00

休診日

日曜・祝日、水・金曜日午後
夏期休暇・年末年始

救急患者様は常時受け入れます

医師一覧

整形外科

大塚 和史
野尻 正憲
佐藤 充彦
武井 大輔
柴代 紗衣
高橋 寛
新井 隆三
森田 侑吾

脳神経外科

佐久間 敬宏
菊田 健一郎
橋本 智哉
高田 茂樹

外科

多保 孝典
宮永 克也
千葉 幸夫
山本 信一郎
木村 哲也
佐々木 正人
林 秀樹

形成外科

荻野 秀一

放射線科

坂井 豊彦
豊岡 麻理子
清水 幸生
清水 一浩
竹内 香代

内科

酒井 克哉
森島 繁
荒井 肇
中嶋 元次
天谷 直貴
福岡 良友
有馬 浩史
伊藤 和広

内科（リウマチ膠原病）

梅原 久範

呼吸器科

長内 和弘

内科（糖尿病）

西教 美千子

循環器科

酒井 克哉
森島 繁
李 鍾大

内科（血液疾患・痛風）

中村 徹

内科（腎臓）

高橋 直生

内科（人工透析）

三崎 裕史
松田 哲久
今田 麻美子
森田 紗由

消化器科

多保 孝典
宮永 克也
荒井 肇
大谷 昌弘
濱中 宏光

神経内科

人見 健文
眞木 崇州

臨床検査

南 亮

眼科

南部 浩隆
赤木 好男

泌尿器科

秋野 裕信

健診・人間ドック

林 秀樹
南 亮

回復期リハビリテーション病棟

中嶋 元次